

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
一般	10	05	10	104630	美術普及活動推進事業費		
総合計画	分野	人づくり					
	政策	3-5	芸術文化の振興				
	施策	1	芸術文化活動の推進				
目的	萬鉄五郎の画業を顕彰するとともに、実地に美術活動に取り組む機会を提供する。						
対象	市民等						
意図	先人の理解を深めるとともに、芸術文化に関心や親しみを感じる市民を増加させる。						
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
萬鉄五郎祭関連事業の開催 (1) 萬鉄五郎祭の実施 (5月3日) 式典挙行、東和中美術部生徒による「鉄人独語」の朗読、参加者による献花 (2) 児童生徒等写生会・作品展示会 写生会 (4月24日) 美術館周辺において美術愛好者の指導の下に実施 展示会 (4月24日～5月16日) 東和図書館を会場にして展示 (3) 民間団体が実施する事業に対する支援 美術研修会 (年2回) の共催 看視ボランティア養成のため県内外の美術館を視察・研修、お茶会、萬生誕祭・鉄人忌の後援、各種美術関連イベントへの参画							
市民参画の有無 []							
市民協働の形態		共催		○ 実行委員会・協議会		○ 事業協力・協定	
		○ 後援・協賛		補助・助成		委託	
活動指標 (上記「事業概要」に対応)		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
①	萬鉄五郎祭式典の実施	回	計画	1	1		
			実績	1	1		
②	児童生徒等写生会・作品展示会の実施	回	計画	1	1		
			実績	1	1		
③			計画				
			実績				
成果指標 (上記「意図」に対応)		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
①	萬鉄五郎祭式典の参加者数	人	目標	50	60		
			実績	61	59		
②	児童生徒等写生会参加者数	人	目標	80	60		
			実績	101	74		
③			目標				
			実績				
成果指標の達成度	目標値より高い		○	概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
事業を展開するうえでの課題に記載した通り、これまで補助事業として実施してきた関連事業のうち、市の関与すべき事業を直轄事業に変更し、これらに限定して活動指標・成果指標を設定した。各指標の目標値は、これまで補助事業として民間団体が実施した事業の実績を参考として設定した。 なお、平成27年度分は、従来報告の「関連事業の参加者数」の中から写生会参加者を抽出して、28年度の指標と一致させた。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	郷土の先人を顕彰しその功績について理解を深めることや、人づくりの一環として児童生徒が実地に美術活動に親しむ機会を提供することは、市及び美術館として妥当な事業である。
有効性	○ 妥当である	
	見直し余地がある	
効果性	○ 向上余地がある	特に写生会については、各保育園・幼稚園、小学校に対しより積極的に働きかけることにより成果の向上が期待できる。
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	市の負担額は、式典及び写生会に直接必要かつ最小限の金額であり、また、職員の関与は、事業の企画・立案及び当日の進行管理などに限定され、いずれも削減の余地はない。
	○ どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	式典部門は受益、負担の観念はない。 写生会は、画用紙や参加記念品代など実費相当の参加費を徴収し適正な負担を求めており、公平性は確保されている。
	○ 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
事業開始当時は、旧東和町が主催し住民団体(鉄人会)に委託して実施していたものであるが、合併と同時に補助事業とされたものである。 現状では、補助事業の中に市が直接所管すべき分野(先人顕彰など)と民間団体が自主的に行う分野(美術研修会など)が混在しているため、平成28年度から市が関与すべき分野を明確にし、事業の効率化を図った。		

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	10	05	10	104630	美術普及活動推進事業費

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		250	240		△ 10
財源 内訳	国・県				
	地方債	200	200		
	その他				
	一般財源	50	40		△ 10

事業期間	○ 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---------	------	-----------------

部重点施策における目標
郷土の先人の理解促進及び美術活動に取り組む市民の拡大

事業開始の背景・経緯
萬鉄五郎祭は、萬を検証する目的で、美術愛好団体に委託して昭和56年から開催。従前は式典やアトラクションを実施。その後、青少年の美術活動を推進する目的で、児童生徒等写生会と作品の展示会を開催。鉄人会独自に美術研修会や生誕祭、鉄人忌、茶会なども実施。

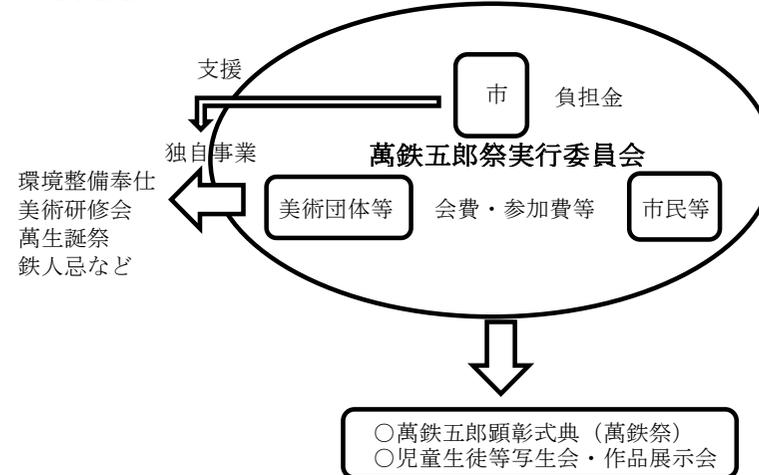
事業概要
萬鉄五郎祭関連事業の開催
(1) 萬鉄五郎祭の実施 (5月3日)
式典挙行、東和中美術部生徒による「鉄人独語」の朗読、参加者による献花
(2) 児童生徒等写生会・作品展示会
写生会 (4月24日) 美術館周辺において美術愛好者の指導の下に実施
展示会 (4月24日~5月16日) 東和図書館を会場にして展示
(3) 民間団体が実施する事業に対する支援
美術研修会 (年2回) の共催 看視ボランティア養成のため県内外の美術館を視察・研修、お茶会、萬生誕祭・鉄人忌の後援、各種美術関連イベントへの参画

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等
これまで民間団体への補助事業として実施してきたが、市が直接関与する分野と民間団体が主体的に実施する分野が混在していた。
このため、萬の顕彰及び児童生徒等を対象とした写生会・展示会 (美術普及) については、芸術文化の振興や先人の顕彰の観点から市が関与すべき事業として、市、美術団体及び一般市民等による実行委員会を設立して実施することとした。
これら以外に、従前補助事業の一環として実施してきた民間団体独自の美術活動に対しては、後援や技術的な支援を行う。

担当部署 部名 生涯学習部 課名 萬鉄五郎記念美術 担当係長 平澤 広 内線 42-4402 (単位：千円)

【事業手法の詳細】…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

< 事業展開のイメージ >



< 委託料の積算内訳 >

事業区分	業務内容	金額 (円)	摘要
1 萬鉄五郎祭式典関係	司会、朗読謝礼	2,000	式典進行、鉄人独語朗読 (東和中美術部)
	交通費	81,000	遺族招聘旅費
	188,911 消耗品・通信料等	25,511	生花、献花用花、ポリ袋、芳名簿、郵便料
	広告料	21,600	岩手日報 (毘沙門祭と共同掲載)
	会場設営・撤去	58,800	4,200円×14人
2 写生会関係	77,451 参加記念品代	19,797	自作品をプリントしたエコバッグ
	消耗品・手数料等	20,494	画用紙、予備絵の具、アイロンプリント紙
	食糧費	7,740	指導ボランティア昼食 (10人)
	環境整備費	29,400	美術館・幼稚園周辺草刈り (機械持込み)
	費用計	266,342	
収入	参加費	37,000	写生会参加費 500円×74人
	市負担金	240,000	
	収入計	277,000	
	差引	10,658	次年度繰り越し

平成 28 年度事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	10	05	10	104630	美術普及活動推進事業費

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

萬鉄五郎祭関連事業の概要と実施区分

1 従来（平成27年度まで）

- (1) 事業主体：鉄人会（萬鉄五郎の顕彰と美術普及活動を行う民間団体）
- (2) 市の関与の形態：財政的な補助（250千円）及び事業に対する後援（技術的な助言、指導）
- (3) 具体的な事業

- | |
|---------------------|
| ①萬鉄五郎顕彰式典の実施 |
| ②生徒児童等写生会及び作品展示会の実施 |
| ③式典関連お茶会・その他イベントの開催 |
| ④萬鉄五郎生誕祭の実施 |
| ⑤鉄人忌（降誕祭）実施 |
| ⑥美術研修会の実施（年2回） |
| ⑦美術館周辺環境整備の実施（年2回） |
| ⑧企画展覧会の看視ボランティア奉仕 |
| ⑨美術イベントへの参画 |

実行委員会事業に変更



独自事業として実施



2 見直し後

- (1) 事業主体：萬鉄五郎祭実行委員会（市、鉄人会等美術団体、市民有志）
- (2) 市の関与の形態：実行委員会構成団体として費用を負担
- (3) 負担金の対象とする事業

- | |
|---------------------|
| ①萬鉄五郎顕彰式典の実施 |
| ②生徒児童等写生会及び作品展示会の実施 |

- (4) 市が負担する根拠
郷土の先人である萬鉄五郎を顕彰し、その業績を広く周知、認識させる事業は、市が行うべき事業である。
また、青少年が直接美術活動に接することにより美術への関心を高めることは、芸術文化の振興及び青少年の健全育成の観点からも市の負担が適切な事業である。

①、②以外は鉄人会等美術団体の自主事業として実施
市は、事業実施に際して後援や技術的な助言、指導を行う。